

2023年9月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2023年8月9日

上場取引所 東

上場会社名 GMOペイメントゲートウェイ株式会社  
 コード番号 3769 URL <https://www.gmo-pg.com/corp/>  
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 相浦 一成  
 問合せ先責任者（役職名） 取締役副社長（氏名） 村松 竜（TEL）03-3464-0182  
 四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有（アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2023年9月期第3四半期の連結業績（2022年10月1日～2023年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第3四半期	47,000	27.2	16,022	25.3	15,954	△47.7	10,795	△49.3	10,515	△50.2	13,348	△57.8
2022年9月期第3四半期	36,956	21.0	12,788	25.1	30,500	189.8	21,298	201.2	21,129	204.6	31,606	296.0
	基本的1株当たり 四半期利益		希薄化後1株当たり 四半期利益									
	円 銭		円 銭									
2023年9月期第3四半期	138.65		137.23									
2022年9月期第3四半期	278.60		275.19									

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2023年9月期第3四半期	294,874	90,481	88,025	29.9
2022年9月期	273,407	89,260	87,122	31.9

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期	0.00	0.00	0.00	160.00	160.00
2023年9月期	0.00	0.00	0.00		
2023年9月期(予想)				82.00	82.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年9月期の連結業績予想（2022年10月1日～2023年9月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	59,100	17.5	20,311	25.0	18,837	△45.8	12,635	△48.1	12,368	△48.8	163.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年9月期3Q	76,557,545株	2022年9月期	76,557,545株
2023年9月期3Q	715,071株	2022年9月期	714,996株
2023年9月期3Q	75,842,486株	2022年9月期3Q	75,842,549株

(注) 期末自己株式数には、役員報酬BIP信託及び株式給付信託(J-ESOP)の所有する当社株式が含まれております(2022年9月期709,705株、2023年9月期3Q709,705株)。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】7ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。
2. 当社は、2023年8月10日にアナリスト・機関投資家向け決算説明会を開催する予定です。その模様及び説明内容については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	6
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	7
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	8
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	8
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	10
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	12
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 継続企業の前提に関する注記	15
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	15
① 現金及び現金同等物	15
② 営業債権及びその他の債権	15
③ 関係会社預け金	15

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものです。

## ① 連結経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間（2022年10月1日～2023年6月30日）の業績は、以下のとおりです。

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	増減率 (%)
売上収益	36,956,780	47,000,632	27.2
営業利益	12,788,081	16,022,020	25.3
税引前四半期利益	30,500,544	15,954,566	△47.7
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	21,129,578	10,515,637	△50.2

## a. 売上収益

売上収益は47,000,632千円（前年同期比27.2%増）となりました。オンライン課金分野、継続課金分野、対面分野と「GM0後払い」合計の決済処理件数は前年同期比28.3%増、決済処理金額は前年同期比32.9%増となり、決済代行事業の売上収益は35,792,321千円（前年同期比28.5%増）、金融関連事業の売上収益は10,393,189千円（前年同期比23.5%増）、決済活性化事業の売上収益は832,923千円（前年同期比16.2%増）となりました。詳細については、「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (1) 経営成績に関する説明 ② セグメントの業績状況」に記載しております。

品目別売上収益は、以下のとおりです。

(単位：千円)

品目別	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	増減率 (%)
イニシャル (イニシャル売上)	5,329,724	8,812,192	65.3
ストック (固定費売上)	5,836,563	6,934,834	18.8
フィー (処理料売上)	9,823,863	12,999,067	32.3
スプレッド (加盟店売上)	15,966,628	18,254,537	14.3
合計	36,956,780	47,000,632	27.2

b. 営業利益

営業利益は16,022,020千円（前年同期比25.3%増）となり、当連結会計年度の業績予想に対して順調に進捗しております。

決済代行事業のセグメント利益（営業利益）は16,012,960千円（前年同期比18.4%増）となり、金融関連事業のセグメント利益（営業利益）は2,270,585千円（前年同期比10.2%増）、決済活性化事業のセグメント利益（営業利益）は207,148千円（前年同期比21.4%増）となりました。詳細については、「1. 当四半期決算に関する定性的情報（1）経営成績に関する説明 ②セグメントの業績状況」に記載しております。

c. 税引前四半期利益

税引前四半期利益は15,954,566千円（前年同期比47.7%減）となり、当第3四半期連結累計期間の営業利益が前年同期比25.3%増だったのに対し、税引前四半期利益は前年同期比47.7%減となりました。これは主に前年同期において持分法適用関連会社であった2C2P Pte. Ltd. の全株式を譲渡したことにより持分法による投資の売却益が16,419,272千円が計上されたことによるものです。

② セグメントの業績状況

セグメントの業績は、以下のとおりです。

（単位：千円）

セグメント別	前第3四半期連結累計期間 （自 2021年10月1日 至 2022年6月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2022年10月1日 至 2023年6月30日）	増減率（%）
決済代行事業			
売上収益	27,846,597	35,792,321	28.5
セグメント損益（△は損失）	13,524,683	16,012,960	18.4
金融関連事業			
売上収益	8,414,516	10,393,189	23.5
セグメント損益（△は損失）	2,061,007	2,270,585	10.2
決済活性化事業			
売上収益	716,867	832,923	16.2
セグメント損益（△は損失）	170,633	207,148	21.4
調整額			
売上収益	△21,200	△17,801	—
セグメント損益（△は損失）	△2,968,242	△2,468,674	—
合計			
売上収益	36,956,780	47,000,632	27.2
セグメント損益（△は損失）	12,788,081	16,022,020	25.3

a. 決済代行事業

決済代行事業については、主にオンライン課金分野・継続課金分野と対面分野における決済代行サービス、金融機関や事業者等に対するBaaS (Banking as a Service) 支援の拡大に取り組んでおります。オンライン課金分野・継続課金分野においては、EC市場の成長のもと、大手から中小規模まであらゆる業態の加盟店開拓やEC以外の幅広い事業者における当社グループのサービス利用の拡大に注力しております。

当第3四半期連結累計期間のオンライン課金分野・継続課金分野は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大時の巣籠消費におけるインターネット利用の定着に伴い、引き続き日用品、デジタルコンテンツや公金・公共料金等のオンライン決済が増加し、またDX需要の高まりから新しい業態のオンライン決済も伸長しました。また、5月に新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が季節性インフルエンザと同じ分類に引き下げられたことによる経済活動の正常化により外出機会が増加したことから、特に非物販領域において旅行やチケットの決済が伸長しました。一方、物販領域においては大規模事業者等一部加盟店に回復の傾向が見られるものの、小規模事業者においては巣籠需要の反動や対面消費への移行により依然マイナスの影響を受けております。

対面分野は、キャッシュレス決済のニーズの高まりから市場の拡大が進み、期首から当第3四半期まで特定大型案件の決済端末出荷が高水準で継続したこと等により「stera」等の端末販売が大部分を占めるGM0フィナンシャルゲート株式会社のイニシャル売上が8,587,433千円（前年同期比64.0%増）と伸長しました。加えて、経済活動の正常化に伴う対面市場での消費の回復や、訪日外国人数の増加によるインバウンド需要も一定程度寄与したことにより決済処理件数・金額とも好調に推移いたしました。

さらに、決済のキャッシュレス化やDX（デジタルトランスフォーメーション）ニーズの拡大を捉えた金融機関や事業者等に対するBaaS (Banking as a Service) 支援では、引き続きプロセッシングプラットフォームサービスが拡大し収益に貢献いたしました。

以上の結果、売上収益は35,792,321千円（前年同期比28.5%増）となりました。セグメント利益（営業利益）は第2四半期連結会計期間に発生した一時的な費用が当第3四半期連結会計期間において一部戻入されたものの、16,012,960千円（前年同期比18.4%増）となりました。

b. 金融関連事業

金融関連事業（マネーサービスビジネス：MSB）については、加盟店のキャッシュ・フロー改善に資する早期入金サービスや、加盟店向け融資サービスであるトランザクションレンディング、海外FinTech事業者に向けたレンディングサービス、送金サービス、給与即時受け取りサービスの「即給 byGM0」のほか、連結子会社であるGM0ペイメントサービス株式会社を通じて「GM0後払い」を提供しております。

当第3四半期連結累計期間において、決済サービスである「GM0後払い」は物販領域における巣籠需要の反動等のマイナス影響は残るものの、大手加盟店獲得に加え手数料改定の影響もあり売上収益は伸長いたしました。また、海外FinTech事業者に向けたレンディングサービスにおいて、北米およびインドを中心に融資残高は前年同期比43.4%増加し、セグメント利益の拡大を牽引しました。加えて、送金サービスや「即給 byGM0」も取扱件数が順調に推移しております。

以上の結果、売上収益は10,393,189千円（前年同期比23.5%増）となりましたが、「GM0後払い」の与信関連コストの増加と当セグメントの売上構成の変化によりセグメント利益（営業利益）は2,270,585千円（前年同期比10.2%増）となりました。

c. 決済活性化事業

決済活性化事業については、当社グループ加盟店の売上向上に繋がるマーケティング支援サービスや、連結子会社であるGM0医療予約技術研究所株式会社を通じて医療受付現場の業務効率化に繋がる医療特化型予約管理システム「メディカル革命 byGM0」等を提供しております。

当第3四半期連結累計期間において、GM0医療予約技術研究所株式会社が提供する予約・問診票記入・受付・決済といった行為をスマホアプリから行えるサービスや、複数の医療機関の診察券をスマートフォン1つに集約することができるサービスへの需要の高まり等から売上収益が前年同期比37.0%増と好調に推移いたしました。一方、顧客需要の減少によりマーケティング支援サービスは減収となっております。

以上の結果、売上収益は832,923千円（前年同期比16.2%増）、セグメント利益（営業利益）は207,148千円（前年同期比21.4%増）となりました。

各セグメントにおいて提供する主なサービス及び会社は、以下のとおりです。

セグメント	提供する主なサービス	主な会社
決済代行事業	決済代行サービス (オンライン課金・継続課金)	GM0ペイメントゲートウェイ株式会社 GM0イプシロン株式会社（連結子会社）
	決済代行サービス (対面)	GM0フィナンシャルゲート株式会社（連結子会社）
金融関連事業	GM0後払い	GM0ペイメントサービス株式会社（連結子会社）
	送金サービス	GM0ペイメントゲートウェイ株式会社 GM0イプシロン株式会社（連結子会社）
	トランザクションレンディング	GM0ペイメントゲートウェイ株式会社 GM0イプシロン株式会社（連結子会社）
	海外レンディング	GM0ペイメントゲートウェイ株式会社
	早期入金サービス	GM0ペイメントゲートウェイ株式会社 GM0イプシロン株式会社（連結子会社）
決済活性化事業	マーケティング支援サービス	GM0ペイメントゲートウェイ株式会社
	メディカル革命 byGM0	GM0医療予約技術研究所株式会社（連結子会社）

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び資本の概況

## a. 資産

当第3四半期連結会計期間末における総資産の残高は、前連結会計年度末に比べ21,467,142千円増加し、294,874,321千円となりました。これは主に関係会社預け金11,200,000千円、その他の金融資産7,427,886千円減少した一方、現金及び現金同等物20,213,694千円、営業債権及びその他の債権4,435,005千円、前渡金6,058,855千円、未収入金5,778,310千円、棚卸資産1,209,668千円、のれん及び無形資産1,960,373千円増加したことによるものです。

「2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 ① 現金及び現金同等物」に記載したとおり、当第3四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物には関係会社預け金が6,080,000千円含まれており、要約四半期連結財政状態計算書上の関係会社預け金5,300,000千円と合わせると、関係会社預け金の残高は11,380,000千円となっております。これはGM0インターネットグループがグループ全体で資金運用を行うために導入しているキャッシュマネジメントシステム(以下、「CMS」という。)を利用し、手元資金を預け入れたものです。そのため、当社グループにおいて事業の進捗に伴って資金需要が増大した際には、CMSの返済期日が到来していなくても、所定の日数より前に申請することで、随時資金を引き出すことが可能です。

## b. 負債

当第3四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末に比べ20,246,332千円増加し、204,392,859千円となりました。これは主に未払法人所得税等3,673,926千円減少した一方、未払金3,504,912千円、預り金14,723,079千円、借入金6,350,000千円増加したことによるものです。

## c. 資本

当第3四半期連結会計期間末における資本の残高は、前連結会計年度末に比べ1,220,810千円増加し、90,481,462千円となりました。これは主に剰余金の配当12,134,807千円により減少した一方、四半期利益10,795,195千円、その他の包括利益2,552,987千円の計上により増加したことによるものです。

## ② キャッシュ・フローの概況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、期首残高に比べ20,213,694千円増加し、134,181,625千円となりました。当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローは以下のとおりです。

## a. 営業活動によるキャッシュ・フロー

当第3四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は9,797,684千円(前年同期は8,591,735千円の獲得)となりました。これは主に営業債権及びその他の債権の増加4,202,945千円、前渡金の増加6,058,855千円、未収入金の増加5,882,795千円、法人所得税の支払額8,917,020千円により資金が減少した一方、税引前四半期利益15,954,566千円、未払金の増加3,819,993千円、預り金の増加14,723,436千円により資金が増加したものです。

## b. 投資活動によるキャッシュ・フロー

当第3四半期連結累計期間において投資活動の結果得られた資金は15,386,648千円(前年同期は1,776,315千円の獲得)となりました。これは主に拘束性預金の預入による支出12,533,900千円、無形資産の取得による支出3,220,550千円、関係会社預け金の預入による支出5,300,000千円により資金が減少した一方、拘束性預金の払戻による収入20,916,744千円、関係会社預け金の払戻による収入16,500,000千円により資金が増加したものです。

## c. 財務活動によるキャッシュ・フロー

当第3四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は6,287,717千円(前年同期は1,087,798千円の獲得)となりました。これは主に短期借入金の純増加額2,900,000千円、長期借入れによる収入3,450,000千円により資金が増加した一方、配当金の支払額12,127,045千円により資金が減少したものです。



### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの事業が主として立脚する電子商取引（EC）市場は、経済活動の正常化に伴い物販領域の消費者向け（BtoC）ECは足元停滞傾向にあります。また、物流の改革等外部環境の変化による利用拡大を受け中長期的には成長の継続を見込んでおります。また、物販以外のサービス領域や、公共料金・税金等の公金、医療等の生活に密着した分野等における決済のオンライン化は着実に進行し、今後も高成長の継続が見込まれております。加えて、企業間取引（BtoB）のEC化や個人間取引（CtoC）のEC化等、ECの領域自体も拡大しております。

連結子会社であるGM0フィナンシャルゲート株式会社が立脚する対面市場においては、クレジットカード及びそれ以外の手段も含めた決済のキャッシュレス化加速の機運も高まっており、新たなビジネスチャンスが生まれると共に、当社グループの事業領域もますます拡大する見込みとなっております。

2023年9月期の事業環境については、経済活動の正常化やインバウンド（訪日外国人）消費の回復、企業の賃上げの動きが広がる一方、金融資本市場の変動や原材料価格の高騰等に伴う物価上昇並びに実質賃金の減少により、民間消費全般の見通しには依然として不透明感があり、当社グループのオンライン決済において当面マイナスの影響が残るものと見込んでおります。しかしながら、ユーティリティ等の非物販領域はマクロ経済の影響を受けにくい特徴があることに加え、業種毎DXプラットフォーム、金融機関や事業者等に対するBaaS（Banking as a Service）支援、次世代決済プラットフォーム「stera」等の重点施策が順調に拡大していることから当社グループの売上収益計画に対し影響は軽微であると想定しております。また、第2四半期連結会計期間において一時的に発生した費用に対しては、当第3四半期連結会計期間において一部戻入が発生いたしました。

2023年9月期の通期連結業績予想については、売上収益59,100百万円（前年同期比17.5%増）、営業利益20,311百万円（前年同期比25.0%増）を見込んでおります。なお、税引前利益以下の各利益につきましては、前連結会計年度において、主に持分法適用関連会社であった2C2P Pte. Ltd.の全株式を譲渡したことにより持分法による投資の売却益16,932百万円が計上されていたことから、税引前利益18,837百万円（前年同期比45.8%減）、当期利益12,635百万円（前年同期比48.1%減）、親会社の所有者に帰属する当期利益12,368百万円（前年同期比48.8%減）を見込んでおります。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	注記	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産			
流動資産			
現金及び現金同等物	①	113,967,930	134,181,625
営業債権及びその他の債権	②	13,964,116	15,711,203
前渡金		54,422,846	60,481,701
未収入金		30,331,694	36,110,004
棚卸資産		1,532,298	2,741,966
関係会社預け金	③	16,500,000	5,300,000
その他の金融資産		12,917,180	4,302,404
その他の流動資産		620,923	885,440
流動資産合計		244,256,990	259,714,346
非流動資産			
有形固定資産		3,542,380	3,430,707
のれん及び無形資産		6,942,428	8,902,802
持分法で会計処理されている投資		8,608,123	8,913,125
営業債権及びその他の債権	②	3,501,426	6,189,344
その他の金融資産		5,095,976	6,282,866
繰延税金資産		1,342,570	1,349,558
その他の非流動資産		117,283	91,570
非流動資産合計		29,150,189	35,159,974
資産合計		273,407,179	294,874,321

(単位：千円)

	注記	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債及び資本			
負債			
流動負債			
買掛金		5,595,583	6,423,556
未払金		23,280,877	26,785,790
預り金		91,410,677	106,133,757
借入金		17,000,000	20,260,000
その他の金融負債		1,014,590	417,408
未払法人所得税等		4,916,655	1,242,728
引当金		320,229	328,863
その他の流動負債		4,281,866	3,574,210
流動負債合計		147,820,480	165,166,315
非流動負債			
社債		19,678,403	19,742,352
借入金		6,000,000	9,090,000
その他の金融負債		2,342,950	2,260,340
引当金		130,576	130,770
繰延税金負債		5,642,475	5,960,269
その他の非流動負債		2,531,640	2,042,811
非流動負債合計		36,326,046	39,226,543
負債合計		184,146,527	204,392,859
資本			
資本金		13,323,135	13,323,135
資本剰余金		15,272,474	15,240,637
利益剰余金		49,424,496	47,800,956
自己株式		△1,152,444	△1,153,329
その他の資本の構成要素		10,255,198	12,814,184
親会社の所有者に帰属する持分合計		87,122,860	88,025,585
非支配持分		2,137,790	2,455,876
資本合計		89,260,651	90,481,462
負債及び資本合計		273,407,179	294,874,321

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

(単位：千円)

注記	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)
売上収益	36,956,780	47,000,632
(うち、金利収益※)	6,834,040	8,509,494
売上原価	△12,175,610	△17,219,643
売上総利益	24,781,170	29,780,989
その他の収益	192,582	215,550
販売費及び一般管理費	△12,144,137	△13,932,230
その他の費用	△41,532	△42,288
営業利益	12,788,081	16,022,020
金融収益	1,278,938	731,542
金融費用	△169,601	△851,916
持分法による投資損益 (△は損失)	183,852	52,920
持分法による投資の売却益	16,419,272	-
税引前四半期利益	30,500,544	15,954,566
法人所得税費用	△9,201,545	△5,159,371
四半期利益	21,298,999	10,795,195
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	21,129,578	10,515,637
非支配持分	169,420	279,557
四半期利益	21,298,999	10,795,195
1株当たり四半期利益 (円)		
基本的1株当たり四半期利益	278.60	138.65
希薄化後1株当たり四半期利益	275.19	137.23

(※) IFRS第9号「金融商品」に基づいて、実効金利法により測定した金利収益を表示しております。

## 要約四半期連結包括利益計算書

(単位：千円)

注記	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)
四半期利益	21,298,999	10,795,195
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産	643,729	321,057
持分法適用会社におけるその他の 包括利益に対する持分	5,475,394	302,981
純損益に振り替えられることのない 項目合計	6,119,124	624,038
純損益に振り替えられることのある項目		
在外営業活動体の換算差額	4,374,272	1,928,948
持分法適用会社におけるその他の 包括利益に対する持分	△186,034	-
純損益に振り替えられることのある 項目合計	4,188,238	1,928,948
税引後その他の包括利益	10,307,362	2,552,987
四半期包括利益	31,606,361	13,348,182
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	31,429,608	13,074,624
非支配持分	176,753	273,558
合計	31,606,361	13,348,182

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)

(単位:千円)

注記	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配 持分	資本合計
2021年10月1日時点の残高	13,323,135	15,191,927	26,546,151	△1,152,444	1,937,175	55,845,946	1,974,433	57,820,379
四半期利益	—	—	21,129,578	—	—	21,129,578	169,420	21,298,999
その他の包括利益	—	—	—	—	10,300,030	10,300,030	7,332	10,307,362
四半期包括利益	—	—	21,129,578	—	10,300,030	31,429,608	176,753	31,606,361
配当金	—	—	△4,474,710	—	—	△4,474,710	—	△4,474,710
非支配株主への配当金	—	—	—	—	—	—	△89,232	△89,232
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替	—	—	3,233,324	—	△3,233,324	—	—	—
株式報酬取引	—	91,350	—	—	△399	90,951	—	90,951
支配継続子会社に対する 持分変動	—	△49,103	—	—	—	△49,103	26,072	△23,030
その他の増減	—	—	—	△718	—	△718	—	△718
所有者との取引額合計	—	42,247	△1,241,385	△718	△3,233,723	△4,433,581	△63,160	△4,496,741
2022年6月30日時点の残高	13,323,135	15,234,175	46,434,344	△1,153,163	9,003,482	82,841,974	2,088,026	84,930,000

当第3四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)

(単位:千円)

注記	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配 持分	資本合計
2022年10月1日時点の残高	13,323,135	15,272,474	49,424,496	△1,152,444	10,255,198	87,122,860	2,137,790	89,260,651
四半期利益	—	—	10,515,637	—	—	10,515,637	279,557	10,795,195
その他の包括利益	—	—	—	—	2,558,986	2,558,986	△5,999	2,552,987
四半期包括利益	—	—	10,515,637	—	2,558,986	13,074,624	273,558	13,348,182
自己株式の取得	—	—	—	△884	—	△884	—	△884
配当金	—	—	△12,134,807	—	—	△12,134,807	—	△12,134,807
非支配株主への配当金	—	—	—	—	—	—	△102,856	△102,856
株式報酬取引	—	33,231	—	—	—	33,231	—	33,231
支配継続子会社に対する 持分変動	—	△65,069	—	—	—	△65,069	147,384	82,315
その他の増減	—	—	△4,369	—	—	△4,369	—	△4,369
所有者との取引額合計	—	△31,837	△12,139,177	△884	—	△12,171,899	44,527	△12,127,371
2023年6月30日時点の残高	13,323,135	15,240,637	47,800,956	△1,153,329	12,814,184	88,025,585	2,455,876	90,481,462

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

注記	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	30,500,544	15,954,566
減価償却費及び償却費	1,571,024	1,772,380
金融収益及び金融費用(△は益)	△1,109,337	120,374
持分法による投資損益(△は益)	△183,852	△52,920
持分法による投資の売却益	△16,419,272	-
棚卸資産の増減額(△は増加)	115,338	△1,209,668
営業債権及びその他の債権の増減 (△は増加)	△714,062	△4,202,945
前渡金の増減(△は増加)	△5,043,471	△6,058,855
未収入金の増減(△は増加)	△5,540,797	△5,882,795
買掛金の増減(△は減少)	△107,745	803,581
未払金の増減(△は減少)	3,522,920	3,819,993
預り金の増減(△は減少)	8,146,355	14,723,436
その他の流動負債の増減(△は減少)	△856,124	△823,058
その他の非流動負債の増減額 (△は減少)	42,756	△446,621
その他	△123,762	△443,838
小計	13,800,514	18,073,628
利息及び配当金の受取額	70,997	751,755
利息の支払額	△68,811	△110,678
法人所得税の支払額	△5,210,966	△8,917,020
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,591,735	9,797,684
投資活動によるキャッシュ・フロー		
拘束性預金の預入による支出	△5,282,800	△12,533,900
拘束性預金の払戻による収入	-	20,916,744
有形固定資産の取得による支出	△201,770	△378,853
無形資産の取得による支出	△1,696,021	△3,220,550
投資有価証券の取得による支出	△454,557	△708,536
投資有価証券の売却による収入	24,360,517	98,106
持分法で会計処理されている投資の取 得による支出	△500,000	-
投資事業組合からの分配による収入	286,573	167,854
関係会社預け金の預入による支出	△16,500,000	△5,300,000
関係会社預け金の払戻による収入	2,000,000	16,500,000
その他の金融資産の取得による支出	△30,894	△150,525
その他の金融資産の売却による収入	7,561	401
その他	△212,293	△4,091
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,776,315	15,386,648

(単位：千円)

	注記	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増減額(△は減少)		6,300,000	2,900,000
長期借入れによる収入		—	3,450,000
長期借入金の返済による支出		△158,515	—
配当金の支払額		△4,471,420	△12,127,045
非支配株主への配当金の支払額		△89,232	△102,856
非支配持分からの払込による収入		25,080	23,890
その他		△518,113	△431,705
財務活動によるキャッシュ・フロー		1,087,798	△6,287,717
現金及び現金同等物に係る換算差額		1,186,453	1,317,078
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		12,642,302	20,213,694
現金及び現金同等物の期首残高	①	104,523,965	113,967,930
現金及び現金同等物の四半期末残高	①	117,166,267	134,181,625



(5) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

① 現金及び現金同等物

現金及び現金同等物の内訳は、以下のとおりです。

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
現金及び預金	109,337,930	128,101,625
関係会社預け金	4,630,000	6,080,000
合計	113,967,930	134,181,625

② 営業債権及びその他の債権

営業債権及びその他の債権の内訳は、以下のとおりです。

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
売掛金	6,454,035	7,530,373
営業貸付金	10,677,593	13,925,696
その他	457,134	572,683
貸倒引当金	△123,220	△128,204
合計	17,465,542	21,900,548
流動資産	13,964,116	15,711,203
非流動資産	3,501,426	6,189,344
合計	17,465,542	21,900,548

③ 関係会社預け金

関係会社預け金はGM0インターネットグループのCMSによる預け金です。